

児童の見守りボランティア活動



【鳴海東部学区】

■世帯数：3,629 世帯

■人 口：9,704 人

■面 積：2.858 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 低学年児童の下校時に合わせ、学区内の 20 ヶ所に待ち受け拠点を設け、ボランティアが週 1 回の当番制で声かけ運動をしている。
- ・ 年間の延べ参加者数は約 1,500 人である。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、学区だよりの配布。

【アピールポイント】

ボランティアは長寿者が中心なので、無理のない活動にしている。待ち受け時間は 20 分程度、場所は自宅近くの希望する拠点にしている。都合が悪くなった日は連絡なしで不参加でも可。学校の行事日など変則時間となる日は実施しないこととしている。

2 きっかけ、背景

平成 17 年、全国的に小学校児童の誘拐事件が多発した。当鳴海東部学区には人口が急増する区域があり、事件が発生する心配があったため、児童の見守り活動を始めた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
民生委員児童委員、PTA
計約 50 人

(2) 他団体との協力

鳴海東部小学校及び PTA

(3) 運営協力

小学校及び PTA に呼びかけ、ボ
ランティアを補充している。

4 実施のスケジュール

H17年 組織の立ち上げ、ボランティア
10月 募集開始

H18年 活動内容の説明会実施
5月

9月 児童見守り活動開始

H22年 ボランティア再募集のための回
1月 覧

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・世代を超えた心の交流が始まった。おかげで今まで事件は発生していない。

(2) 苦労した点

- ・参加者の確保。絶えずボランティアを補充していく必要がある。
- ・学期ごとに当番表を作成する関係で、学校と綿密な打ち合わせをしなくてはならない。

(3) 今後の課題・展望

- ・学区民の要望は年々変わってくる。現在は防犯活動への要望が強く、組織立ち上げの受け皿が確保できない。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・活動が長続きするために、ボランティア一人ひとりの負担を軽くするようにしている。

拠点待ち受け者（ボランティア）へのお願い

- 1 当番日の役割
(1) 鳴海東部小学校の発着時刻から助産して、到着予想時刻の10分前に拠点場所に集合してください。
(2) 下校する児童が来たら声をかけてください。
(3) 児童は集団で下校することになっているので、集団が過ぎれば終わりです。
(担当のお住まい近くの集団とそのまま移動してもけっこうです。)
(4) 待ち受け拠点以後が心配な地域は、適宜付き添ってください。
(5) 待ち受け後の報告は必要ありません。適宜解散です。
- 2 当番表について
(1) 祭日にあたる場合は、学校も休みですからありません。
(2) 学校行事等で下校時間が変わる日は実証しません。(当番表の下欄に記述してあります。尚、学校側の要望をお願いする場合は事前に連絡します。)
(3) 当番表は、学期ごとに出します。(当番表は各学期の1カ月前ぐらいに自治会を通じてお渡しします。)
(4) 急な用事等で都合がつかなくなった場合は、当番変更の措置は行いません。(日によって待ち受け者がいない拠点が生じますが、やむを得ないと考えます。)
(5) 「待ち受け場所」「当番曜日」について、会員同士で交換してもけっこうです。
(6) 空いている「待ち受け場所」または「新たな場所」に変更もできます。
(7) 「待ち受け場所」は目安ですので、多少移動した場所でもかまいません。
- 3 その他
(1) 当番日には、できるだけ各自治会からお渡しした「ウインドブレーカー」または「ベスト」と「帽子」を着用してください。
(2) 児童との出会いには、行き過ぎた行為(執拗な問いかけ、写真撮影など)は誤解を招くことがありますので、ご注意ください。
(3) おおねの向きは、鳴海東部小学校(876-0920) 教頭先生もしくは学区区政委員会事務局の前田(876-6425)へお問い合わせください。
(4) 緊急の連絡は、各自治会ごと一番最初の方に電話を入れます。以下名簿の順に流してください。(留守の場合は飛ばしてください。)